

# 校長室の窓

大和町立小野小学校  
校長室だより No.50

平成30年1月9日(火)発行

## 犬は一匹、牛は一頭

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。  
今年も戌年です。12歳の子供たちが年男・年女になります。去年の始業式では「干支のはじまり」のお話をしました（猫が十二支に入れなかったわけや、犬と猿の間に鶏が入った話とか）。  
今年の始業式では、次のような話をしました。

新年のスタートですね。校長先生が「あけましておめでとうございます」と言ったら、皆さんも「おめでとうございます」と返すんですよ。【と言って、挨拶を交わしました】

3学期のスタートに当たって、校長先生からは「努力」と「探究」について話します。

### 1 戌の干支の特徴は「勤勉で努力」

今年も十二支という「戌年」です。12歳の人たちが戌年になります。戌の干支の特徴は「勤勉で努力」だそうです。「努力に勝る天才はなし」ということわざがあります。天才であっても努力なしに成功はありませんから、天才でない人にとっても努力は大切になります。3学期は「努力」をキーワードにして、「1年のまとめの勉強」や「なわとびなどの運動」、努力していきましょう。

### 2 「不思議・なぜ」を調べる探究心を

さて、今年の干支である「犬」の数え方は「匹」ですか「頭」ですか？

そうですね。もちろん「匹」です。では、牛は「匹」ですか、「頭」ですか？

ちょっと迷いますね。小野小の図書室にある本『数え方の単位の本』にはこう書いてあります。

1匹…犬や猫など人間よりも小さな動物は「匹」を使って数えます。また昆虫や爬虫類、両生類なども基本的に「匹」で数えます。ミミズやクモ、ナメクジ、ムカデも「匹」を使います。

1頭…人より大きく、抱きかかえられない大型の哺乳類は「頭」で数えます。ただし、大きさだけが基準ではなく、人間にとって存在感の大きなもの、意味のある生物も「頭」で数えることがあります。

大きさが数え方が変わってくるというのは、とても面白いですね。

去年は「酉年」でしたね。「鳥」の数え方は知っていますね。そうです「羽」ですね。

鳥の仲間には「鳥類」といいますが、鳥でもないのに「羽」と数えられる生き物がいます。どんな生き物だと思いますか？ そのとおり、「うさぎ」です。

1羽…「羽」は基本的に鳥を数えるときに使います。ただし、ウサギは昔、鳥の一種と見立てられていたため、「羽」で数えることがあります。コウモリも翼をもっているため、「羽」で数えることがあります。

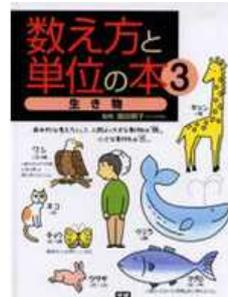
物の数え方には、不思議な面白さがあります。

生きている魚は「匹」で数えます。水揚げされると「尾」「本」で数えます。イカは胴体を盃に見立てて「杯」、カニも甲羅の形が盃に似ていることから「杯」で数えます。カレイやヒラメやホタテなど平面的な場合「枚」で数えることもあります。

いろいろ数え方が変わっていく面白さもありますね。

二つ目に3学期に頑張ってもらいたいことは「探究」です。不思議だな、なぜだろうと思ったことを調べてみてください。この本は小野小の図書室にあるのですよ。ぜひどんどん本で調べたりしてみてくださいね。

ちなみに、「妖怪」は「一匹」と数えるそうですし、「幽霊」は「1人」だそうです。面白いですね。お話を終わります。



平成27年4月から始めた「校長室の窓」が通算50号となりました。新たな気持ちで平成30年のスタートを切りたいと思います。子供たちも、新たな気持ちで、残り少ない3学期を目標をもって元気に過ごしてほしいと思います。